

### 北伊豆地震・丹那断層への見学会

7月1日(日)、塚田冷子会長をはじめ、三島ゆうすい会の大人11名、子供2名で、函南町の田代・火雷神社と丹那・乙越の断層跡を見学しました。

昭和5(1930)年11月26日未明に発生した北伊豆地震は、マグニチュード7.3の直下型の強烈な地震で、田方郡、三島市などに多くの被害を及ぼしました。

田代の火雷神社は、鳥居と石段の間を丹那断層が走り、鳥居から石段を見ると石段が左にずれています。ここでは

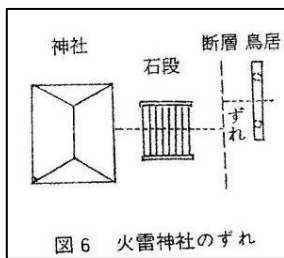


図6 火雷神社のずれ

えんそくの地学静岡県地学会編



丹那断層のずれを敷地上から見た図

西側が南へ、東側が北へずれ、その水平移動距離は約1m余ですが、主として動いたのは西側(石段)だと言われています。北伊豆地震の時に移動した丹那断層のずれの跡がよく分かる場所として、昭和56(1981)年7月25日に町の天然記念物に指定されています。私たちが訪れた日には、近所のご家族が神社の清掃に来ていました。

次に乙越の断層跡を見学しました。この断層は大塚兼五郎さん宅の住宅の下を通過し、住宅を倒壊させたということですが、そこの庭にあった池、水路、石垣が断層により

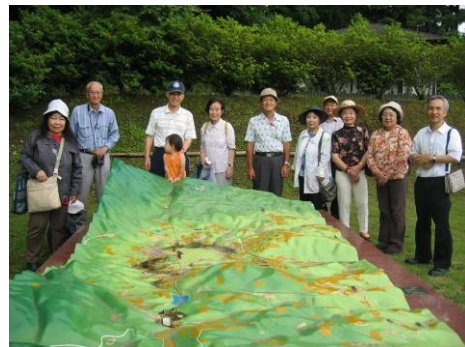
ずれて、現在それらは文部科学省の指定を受けて保存されています。丹那断層の模型が屋外に展示され、また大塚さん宅の地層も見ることが出来るようになっています。

北伊豆地震の時に動いた丹那断層は、箱根芦ノ湖から旧中伊豆町まで続く長さ約30kmの丹那断層帯の代表的な断層です。周辺にはこの断層に接近している7つの断層が知られています。

これらの断層は1000年に1度くらい活動する活断層で、丹那断層の東側の斜面の谷が1kmほど左にずれしているのが、田代盆地から軽井沢にかけての地形で分かります。1000年に2mほどのずれが、50万年の間に積もり積もって、1kmにもなったと考えられています。

断層見学の後、丹那牛乳でおなじみの酪農施設オラッチェで昼食をとり、牛、馬(ポニー)、やぎ、うさぎ等小動物とふれあった後、家路につきました。

百聞は一見にしかず。丹那断層の見学をおすすめします。



初めて見学をした参加者も何人か

### 「三島湧水マップ2007」小中学校に贈呈

5年前に三島ゆうすい会が作成した「三島湧水マップ2002」は、好評のうちに終了しました。このたび、改訂版「三島湧水マップ2007」が、三島ゆうすい会とNPO法人グラウンドワーク三島の共同調査編集で完成しました。また、用紙は、濡れにも、折りにも強いという耐水印刷紙(特種東海ホールディングス㈱協力)を使用しています。



三島市教育委員会で「三島湧水マップ2007」を贈呈する  
三島ゆうすい会の塚田冷子会長(中央)と小松幸子副会長

マップの随所に、マスコットのゆうちゃん(湧水めぐりが大好きで、自然も大好きとい

う優しい男の子、三島ゆうすけ)、すいすい(ゆうちゃんの友達のカエルで、頭はいいけど、ちょっと小心者)、ぽてっぽ(ゆうちゃんとすいすいが、湧水めぐりをしていたときに会ったカッパ。水がきれいなところにだけ生息する。性格は、穏やかで優しい。無口で、ぼけっとしてい)が登場します。

7月11日(水)、両団体の関係者で、三島市教育委員会をとおして三島市立小中学校の図書室に保存して学習に生かしていただけるよう、21校に各50部ずつ贈呈しました。

今後も、出前講座などの依頼があったときには、贈呈分とは別に、学習意欲のある児童生徒にこのマップを手渡して、三島の湧水を守り伝える一助となることを期待しています。

「三島自然を守る会」の講師として塚田冷子会長出席

10月13日(土) 13:30~15:30

三島市民活動センター参加者 約50人

演題 「三島の湧水と生活について」

三島の湧水量が如何に豊富であったか、講師である塚田冷子会長の体験を基に講義を進めた。

父親とモジリを仕掛け鰻をたくさん捕ったこと。戦時中、沼津空襲で避難した先の三島競馬場で再び空襲に会い、多くの方々が家財を焼失してしまったこと。境川的位置が低く、荷物の運搬に支障をきたした事。境川の状況が現在と大分異なっていることなど、興味深く話し、参加者は納得しながら聞いていた。



休憩時間にほっと一息。講義では真剣の塚田冷子さん

秋津亘先生の、三島の地名の由来に関する話では源兵衛川の由来についてが、非常に興味深かったようだ。源兵衛川用水開発は伊豆国司の重要な仕事であったそうだ。秋津先生は自分で歩いて調査をしたので、高齢にも拘わらず、淀みなく質問に回答され、会場も非常に盛り上がった。残念なことは旧地名が薄れていくことだ。宮倉、長谷、祓所等々。

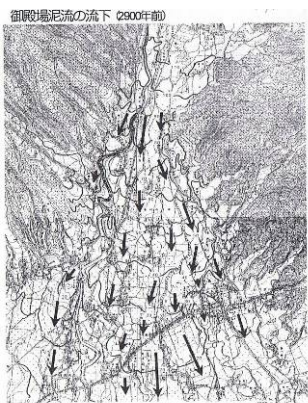
三島湧水群・湧水メカニズムの新視点

9月15日(土)に、三島市民活動センター4階に参加者40名が集まりました。三島ゆうすい会の水の勉強会としても、三島自然を守る会の「三島の湧水を知る」講座・工藤周一先生の講座に参加させていただきました。

三島ゆうすい会からは、会長の塚田冷子、理事の佐伯忠夫、青木利治、大村皖伸、宇水勉が出席しました。

今年の三島ゆうすい会総会でも、工藤先生の御殿場泥流による湧水メカニズムをお話ししていただきました。

従来、三島湧水は三島溶岩流の間を流れ、三島に湧出すると言われてきましたが、工藤先生は御殿場泥流の重要性を指摘されます。御殿場泥流は、およそ2,900年前、富士山麓の岩礁なだれが泥流となって三島付近まで流れて来たものだそうです。御殿場泥流の露頭は、菰池、水泉園(白滝公園)、高台(四ノ宮川)、清住緑地などに見られます。



富士山東斜面で発生した岩礁なだれが泥流となった。噴火ではなく、熱はなかったようである。黄瀬川を流れ下ったものは、伊豆島付近で一瞬滞留したが、さらに流下を続け、大場川を南に押しやった。崖山に達した可能性もある。

御殿場泥流の流下の様子

この泥流の帯水層を通して三島に湧出するのが三島湧水群だと主張されます。

また、長泉の窪の湧水は長泉町唯一の富士山水系の湧水だと言われてきましたが、先生は、主として上流の灌漑用水からの水ではないかと話しています。

今年の夏は7月と9月の半ばに台風がこの地方を襲い大雨を降らせましたが、この時に合わせて、小浜池をはじめ三島のわき水が湧き出しました。このことは、今まで多くの先生方が湧水メカニズムについていろいろな説明をされていますが、もう一度、工藤先生のお話も含めそのメカニズムを考え直して見る必要があると思いました。三島ゆうすい会でも、環境、湧水などの視点から考えるうえで、とても勉強になりました。

三島市向山小学校の6年生が「三島梅花藻の里」で学習

7月5日(木)9:20~10:20に、12名の向山小6年生が、「三島梅花藻の里」で三島梅花藻について学習しました。案内と説明は、三島ゆうすい会副会長の小松幸子が担当しました。



三島梅花藻の里で熱心に学習する向山小の6年生

この日は、引率の先生はおらず、児童だけで電車に乗り、三島田町駅で下車し、徒歩で到着。協力しあって熱心に学習していました。三島梅花藻の世話をしているボランティアの人たちにも会えて、作業風景を見ることができましたし、間引き後のミシマバイカモを分けてもらい、直接手にとって観察することもできました。天候にも恵まれ、雷井戸や、源兵衛川にも足を伸ばし、三島の水辺のすばらしさを実感できたようです。

学習直後のひとこと感想をいくつか紹介します①三島の宝物を守るために努力したい。②ミシマバイカモはすごくきれいで、水もすきとおって冷たかった。これからは、きれいなミシマバイカモが育ってほしいです。③思ったより花が小さかった。④韓国でもバイカモって咲いていると知りました。ミシマバイカモは、特別な浮葉がついていると知ってびっくりしました。いろいろ教えてくださいましてありがとうございます。これからはがんばってください。⑤あまり見ないミシマバイカモだけど、ここでは身近ですごくいいと思った。

その後、学校から礼状が届きました。それには12名のお礼の手紙も添えられていました。

三島市立向山小学校の6年生9人塚田邸訪問



湧水マップ2007も活用してね!

7月5日の9時、三島調べの一環としてホテルの生態勉強のために訪問。三島ゆうすい会塚田冷子会長が、ホテル誕生、成虫になるまでの様子を図面を使って説明しました。児童は皆、非常に興味をもって熱心に話を聞いていました。質問も多く出され有意義な時間を過ごしました。特にほたるの館における幼虫の見学やカワニナとホテルの関係について

の話が興味深かったようでした。

水琴窟にも耳を傾け、ほたるの里の整備状況を観察し、塚田邸で記念写真を撮りました。終了後源兵衛川で、はしゃぐ姿は、やはり小学生でした。三島の将来と彼らの将来に、万歳。



源兵衛川で自然観察?!

飛べ!ぼくらの「たこロケット」  
函南町立さくら保育園

10月1日、水環境教育シリーズの一環として理事の小浜修一郎さんが、函南さくら保育園において、「水環境教育・水は大事だよ!ダムの話」を年長組38名の園児にしました。小浜さんの説明に、明るく元気な園児たちは、水の大切さが分かったようでした。

学習後ペットボトルにビニールひもの足を付けた「たこロケット」を自作し、園庭で、水を入れて空高く飛ばしました。「5、4、3、2、1、ZERO 発射!」で発射レバーを引き、大はしゃぎ。大歓声…大成功!最後にペットボトル風車を各園児にプレゼントして終了しました。



空高く飛んだロケットに歓声を上げる園児たち

ゆうすいあれこ

「環境貢献賞」 受賞



表彰状と受賞者との記念撮影

6月21日、国際ソプロチミスト駿河から「環境貢献賞」で表彰されました。平成3(1991)年の会発足以来、自然の恵みに感謝し、三島の湧水復活に向けて活動してきた成果と、市民に向けて啓発活動を継続してきたことに対する努力が認められました。

授賞式には、塚田冷子会長と小松幸子副会長が出席しました。**NHK 放送「小さな旅」再放送**

5月27日に放送された「小さな旅」の反響が大きく好評につき再放送するとNHKから連絡がありました。9月23日に放送されると第一報はニューヨークから

でした。50年前三島から移住した方ですが、三島の美しさが残っていたと、また三島が近くなったと感激していました。

他にもユタ州の方が塚田邸を訪ねてきました。戦後アメリカに渡った方ですが、子供の時の故郷を思い出したと喜んでくださいました。きっと、乱舞するホテルに思いを馳せたのではないかと思います。

遊水匠の会5尺水車リニューアル  
三島ゆうすい会支援

11月の夫婦水車リニューアルに向けて作業をがんばっています。また、夫婦水車から家族水車にと、2尺水車も増設するつも



水車制作中の風景

りです。みなさん、楽しみにお待ちしております。

コイの稚魚・宮さんの川へ

7月4日、宮さんの川(蓮沼川)に新潟県の山古志村から購入したコイの稚魚を放流しました。近所の子供たちが、かわいらしいコイの赤ちゃんに「元気で育って!」と集まっていました。



みんな大きくなあれ

宮さんの川で撮影

5月17日に「宮さんの川」の前で撮影された浅見光彦シリーズ「漂白の楽人」が10月15日(月)午後9時からTBSテレビで放映されました。見られているはずの風景も、ドラマの中では少し違って素敵に見えました。うれしいものですね。



水車も撮影されて

**イベントへ出かけませんか？**

11月3日(土・祝)

第2回ボランティアフェスティバル  
パネル展

時間 11:30～16:00  
会場 三島市民活動  
センター会議室



第1回の様子

11月10日(土)

「三島自然を守る会」の学習会  
第3回

講師 松本 博先生  
時間 13:30～  
会場 三島市民活動センター

12月1日(土)～7日(金)

「水よ！輝け」三島の水辺写真展

12月1日(土) 11:00～  
オープニングセレモニー  
会場 三島市民活動センター  
期間中の展示時間 10:00～21:00

**テレビで楽しみませんか？**

三島の歴史を探る－北伊豆震災

さくらチャンネル(三島市広報制作・ケーブルテレビ35チャンネル)に三島ゆうすい会が協力しました。

写真集→

番組作成にあたって  
「北伊豆震災と三島の復興写真集」



が参考資料として使われました。番組は23分間で、写真も盛り込まれています。10月26日～11月9日まで毎日放映されます

**水生生物を保全する新たな取り組み  
－水生植物保全ネットワーク－**

日大三島高校2年生の石井将仁君。ミシマバイカモの研究に取り組んでいることがきっかけで、国立科学博物館の田中法生先生から呼びかけがあり、水生植物の保全に努めている団体として三島ゆうすい会がこのネットワークに協力することに。すでに「絶滅危惧植物展」草津市立水生植物公園みずの森 8/14～9/2 筑波実験植物園 9/16～24 で紹介されました。

塚田冷子会長宅ホタルなど見学

5月31日 島田市伊久身(いくみ)農村環境改善センター池田さん他8人\*「街中にこんな田舎がある」と驚いていました。  
6月10日 早稲田大学学生約10人  
8月4日 日本女子人間社会学部

教育学科田中雅文教授 三島ゆうすい会の活動について

8月5日 三島市立北小4年3人 ホタルと梅花藻  
9月1日 「子どもたちに安全な水を」プロジェクトのセネガルから2人、日大金谷尚知教授と一緒に

三島市主催の清掃にも参加！！

8月4日 三島市内清掃  
「三島ゆうすい会」と「宮さんの川を守る会」総勢15人参加  
10月20日 チャンカケ拾い  
宮さんの川 8:30～

**定例の清掃予定**

★いずれの定例活動も自由参加です。ふるってご参加ください！雨天時は原則として休みです。

【定例活動(作業等)】

●宮さんの川清掃

原則として毎朝6:00～

宮さんの川集合 長靴、軍手またはビニール手袋持参 「宮さんの川を守る会」とともに

●源兵衛川のいづみ橋から広瀬橋での草取りなど

原則毎週土曜日、日曜日の朝6:00～源兵衛川いづみ橋集合 長靴、軍手またはビニール手袋、草取り道具等持参 「三島ゆうすい会」有志とともに

●源兵衛川清掃

原則として毎週第2日曜日13:00～水の苑緑地・かわせみ橋集合、長靴、



軍手またはビニール手袋持参 「源兵衛川を愛する会」とともに

●桜川清掃

原則として毎月第1土曜日10:00～白滝公園集合 長靴、軍手またはビニール手袋持参 「桜川を愛する会」とともに

●三島梅花藻の里保全活動

原則として毎月第2日曜日10:00～三島梅花藻の里集合 長靴、軍手またはビニール手袋、草取り道具等持参

**会費・ご寄付・資機材支援**

●新規ご入会(敬称略)

内田弘一

●ご寄付

松井 英雄様

匿名ご希望

●会費ご入金

本年度会費を納めてくださいました。



方のお名前は別紙の通りです。ご協力に心より感謝申し上げます。

★未納の方は、いずれかの口座へご入金くださいますよう、よろしく願い申し上げます。

〈年会費金額〉

・正会費 3,000円

・賛助会費 1口10,000円

〈お振込み先〉

・郵便振替 0840-4-118192

加入者名: 三島ゆうすい会

・静岡銀行三島支店

普通預金 No.0346532

・スルガ銀行三島セントラル支店

普通預金 No.572969

・三島信用金庫西支店

普通預金 No.1042399

口座名: 三島ゆうすい会

会長 塚田冷子

